

プ ロ グ ラ ム

A 会場（ライフホール）

9:25 開会の辞

9:30 - 10:42	中枢神経 1
座長：原 英彰（岐阜薬科大学・薬効解析学）	
中本賀寿夫（神戸学院大学薬学部・臨床薬学）	

9:30 A-1 NMDA による $\text{TNF-}\alpha$ 発現上昇を介した網膜神経節細胞死に対するアペリンの保護作用

○石丸侑希、森田 匠、住野彰英、岩田侑子、山室晶子、吉岡靖啓、
前田定秋

摂南大・薬・薬物治療

9:42 A-2 成長因子プログラニューリンの網膜再生への関与

○久世祥己、鶴間一寛、杉谷 創、射和 寛、大野雄太、嶋澤雅光、
原 英彰

岐阜薬科大・薬効解析

9:54 A-3 GABA_B 受容体作動に伴うカリウムチャネル開口を介した神経細胞保護作用の可能性

○金城俊彦、芦田よしの、東 紘史、倉本展行

摂南大・薬・薬効薬理

10:06 A-4 脳内 sodium-glucose transporter type 1 を介した細胞内ナトリウム流入が脳虚血性神経障害の発現増悪に及ぼす影響

○山崎由衣、原田慎一、徳山尚吾

神戸学院大・薬・臨床薬学

10:18 A-5 アストロサイトにおける Rho family GTPases の機能解明ー小脳皮質層形成におけるバグマングリアの役割ー

○坂本勲勇¹、上山健彦¹、林部正和¹、饗場 篤²、齋藤尚亮¹

¹ 神戸大・バイオシグナル研究センター・分子薬理、² 東京大院・医学系研究科附属疾患生命工学センター

10:30 A-6 アストロサイトによる細胞外環境の恒常性維持機構のシミュレーション解析

○村上慎吾、倉智嘉久

大阪大院・医・薬理（分子・細胞薬理学）

10:42 - 11:42 学生優秀発表賞選考セッション 1

座長：岸岡史郎（和歌山県立医科大学・薬理学）

久米利明（京都大学大学院薬学研究科・薬品作用解析学）

10:42 A-7 神経障害性疼痛に対するメサドンの効果

○飯尾彩加、糸 和彦、大澤匡弘

名古屋市立大院・薬・神経薬理

10:54 A-8 Sophoraflavanone G とその類縁体 6-prenylnaringenin の T 型 Ca^{2+} チャネル阻害作用の電気生理学的特徴と各種疼痛モデルでの有効性

○大野 堇¹、山岡 桜¹、関口富美子¹、市井真貴¹、藤田友代¹、
出口貴浩²、坪田真帆¹、西川裕之¹、吉田 繁³、村田和也²、
松田秀秋²、豊岡尚樹⁴、大久保つや子⁵、川畑篤史¹

¹近畿大・薬・病態薬理、²近畿大・薬・薬用資源、³近畿大・理工・
生命科学、⁴富山大・工・生命工学・生体機能性分子工学、⁵福岡歯科大・
細胞分子生物

11:06 A-9 線条体サブスタンス P 神経系による疼痛抑制作用のメカニズム

○渡部亨平¹、福重 亮²、岸田祐輝¹、中村庸輝²、森岡徳光²、
仲田義啓²

¹広島大・薬・薬学科、²広島大院・医歯薬保健・薬効解析科学

11:18 A-10 社会的敗北ストレスによる痛覚閾値の低下への duloxetine の効果

○北尾優花、糸 和彦、大澤匡弘

名古屋市立大院・薬・神経薬理

11:30 A-11 Cerulein 誘起マウス急性膵炎モデルにおける膵臓痛の発現・維持にはマクロファージ由来 high mobility group box 1 による RAGE および CXCR4 の活性化が関与する

○入江悠平^{1,2}、坪田真帆¹、関口富美子¹、石倉宏恭²、西堀正洋³、川畑篤史¹

¹ 近畿大・薬・病態薬理、² 福岡大・医・救命救急、³ 岡山大・医・薬理

13:30 - 14:30 学生優秀発表賞選考セッション4

座長：矢部千尋（京都府立医科大学大学院医学研究科・病態分子薬理学）

小澤光一郎（広島大学大学院医歯薬保健学総合研究院・治療薬効学）

13:30 A-12 分岐鎖オリゴグリセロールを用いた新規水溶性プロブコール誘導体 (Pro-BGL2) による糖代謝改善作用

○土橋有希¹、宮本理人¹、竹之熊和也¹、根本尚夫²、土屋浩一郎¹
徳島大院・医歯薬学研究部・¹医薬品機能生化、²機能分子合成薬学

13:42 A-13 高血圧ラットの血中エキソソームは内皮細胞の炎症を惹起する

○櫻井絵未¹、岡真優子^{2,3}、田中昌子¹、山口雄大⁴、塩田正之²、岩尾 洋^{2,5}、三浦克之^{1,2}、泉 康雄²
大阪市立大院・医・¹薬効安全性学、²分子病態薬理、³京都府立大院・生命環境科学・食環境安全性学、⁴新潟大院・医歯学総合・細菌学、⁵四天王寺大・教育学

13:54 A-14 腎臓に発現するユビキチンリガーゼ RNF183 と COP11 構成タンパク質 Sec16A との結合の意義

○呉 艶¹、前岡侑二郎^{1,2}、高井知子¹、和田有希子¹、今泉和則¹、金子雅幸¹
広島大院・医歯薬保健・¹分子細胞情報学、²腎臓内科学

14:06 A-15 過酸化水素膀胱内注入による慢性膀胱炎モデルの病態解析

○小寺みずき¹、土岸広治¹、尾山翔平¹、白川久志¹、中川貴之²、金子周司¹

¹ 京都大院・薬・生体機能解析、² 京都大・医・附属病院薬剤部

- 14:18 A-16 気管支平滑筋における大コンダクタンス Ca^{2+} 活性化 K^+ チャネル新規修飾サブユニット機能の解明
○野田さゆり、鈴木良明、山村寿男、今泉祐治
名古屋市立大院・薬・細胞分子薬効解析

14:30 - 15:30 中枢神経 2 座長：金子周司（京都大学大学院薬学研究科・生体機能解析学） 山田清文（名古屋大学大学院医学研究科・医療薬学・附属病院薬剤部）
--

- 14:30 A-17 社会性刺激に対する反応異常における背側縫線核 GABA_B 受容体の関与
○平城陽介¹、西田将治¹、倉本展行²、松本欣三³、荒木良太¹、
矢部武士¹
¹ 摂南大・薬・複合薬物解析、² 摂南大・薬・薬効薬理、³ 富山大・
和漢研・複合薬物薬理

- 14:42 A-18 膜貫通型糖タンパク質 GPNMB の学習・記憶に及ぼす影響
○吉野雄太¹、村田健太¹、石坂光絵¹、森口茂樹²、福永浩司²、
鶴間一寛¹、嶋澤雅光¹、原 英彰¹
¹ 岐阜薬科大・薬効解析、² 東北大院・薬・薬理

- 14:54 A-19 エンカウンター刺激を利用した新規マウス意欲評価試験の開発
○長谷部茂¹、吾郷由希夫²、岡 智史²、渡部雄二²、尾中勇祐³、
橋本 均^{2,4}、田熊一徹^{1,4}、松田敏夫³
¹ 大阪大院・歯・薬理、大阪大院・薬・² 神経薬理、³ 薬物治療、
⁴ 大阪大院・5 大学連合小児発達

- 15:06 A-20 Effect of acute MK-801 treatment on performance in a visual discrimination task in C57BL/6J mice.
○Wulaer Bolati, Nagai Taku, Yamada Kiyofumi
名古屋大院・医・医療薬学・病院薬剤部

- 15:18 A-21 D1R in the NAc plays important role in reward associated learning and memory via MAPK signaling.
 ○Md. Ali Bin Saifullah¹, Taku Nagai¹, Keisuke Kuroda²,
 Kozo Kaibuchi², Kiyofumi Yamada¹
¹名古屋大院・医・医療薬学・病院薬剤部、²名古屋大院・医・神経情報薬理

15:30 – 16:30 中枢神経3
 座長：今泉祐治(名古屋市立大学大学院薬学研究科・細胞分子薬効解析学)
 古屋敷智之(神戸大学大学院医学研究科・薬理学)

- 15:30 A-22 メタンフェタミン反復投与マウスの精神的ストレスによる多動反応の神経化学的基盤
 ○田中辰典¹、吾郷由希夫¹、梅原千晶¹、尾中勇祐²、橋本 均^{1,3}、
 田熊一徹^{3,4}、松田敏夫²
 大阪大院・薬・¹神経薬理、²薬物治療、³大阪大院・5 大学連合小児発達、⁴大阪大院・歯・薬理

- 15:42 A-23 反復ストレスによる情動変容における自然免疫分子の役割
 ○北岡志保¹、轟 翔^{1,2}、田中昂平²、小川惇史²、井本有基³、
 瀬木一西田恵里⁴、成宮 周²、古屋敷智之¹
¹神戸大院・医・薬理、²京都大院・医・メディカルイノベーションセンター、³京都大院・薬・生体情報制御、⁴東京理科大・基礎工・生物工学科

- 15:54 A-24 幼若期における社会性敗北ストレス負荷が成長後のアルコール摂取に及ぼす影響
 ○黒川和宏、山本昇平、大熊誠太郎
 川崎医科大・薬理

- 16:06 A-25 注意欠陥多動性障害治療薬による前頭葉ドーパミン神経活性化を介した胎仔期バルプロ酸曝露マウスの行動異常の改善
 ○原 雄大¹、吾郷由希夫¹、樽田淳樹¹、片芝圭亮¹、樋口桃子¹、
 長谷部茂²、尾中勇祐³、橋本 均^{1,4}、松田敏夫³、田熊一徹^{2,4}
¹大阪大院・薬・神経薬理、²大阪大院・歯・薬理、³大阪大院・薬・薬物治療、⁴大阪大院・5 大学連合小児発達

16:18 A-26 アストロサイトにおける MHC Class I の過剰発現が行動に及ぼす影響
 ○祖父江顕、伊藤教道、中島 晶、永井 拓、山田清文
 名古屋大院・医・医療薬学・病院薬剤部

16:35 閉会の辞

B 会場（サイエンスホール）

9:30 - 10:42 心・血管・腎

座長：玉置俊晃（徳島大学大学院医歯薬学研究部・薬理学）

近藤一直（藤田保健衛生大学医学部・薬理学）

9:30 B-1 心筋梗塞後の心筋老化誘導におけるミトコンドリア GTP 結合タンパク質 Drp1 の役割

○島内 司^{1,2}、西村明幸^{1,3}、富田拓郎^{1,3}、西田基宏^{1,2,3,4}

¹ 自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター（生理学研究
所）心循環シグナル研究部門、² 九州大院・薬・創薬育薬研究施設統括、³ 総研大生理科学専攻、⁴ J S T さきがけ「疾患代謝」

9:42 B-2 アンジオテンシン II 誘発性高血圧に対する P2Y6 受容体の役割

○西村明幸^{1,2}、Caroline Sunggip¹、富田拓郎^{1,2}、西田基宏^{1,2,3,4}

¹ 自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター（生理学研究
所）心循環シグナル研究部門、² 総研大生理科学専攻、³ 九州大院・薬・創薬育薬研究施設統括、⁴ J S T さきがけ「疾患代謝」

9:54 B-3 Hypoxia がヒト臍帯血管静脈内皮細胞の細胞増殖に及ぼす影響について

○池本和久、菅沼由唯、狩野泰輝、野村隆英、一瀬千穂、近藤一直
藤田保健衛生大・医・薬理

10:06 B-4 Glucose augments proximal tubular angiotensinogen through glucose-responsive elements activation

○Wang Juan、小堀浩幸、柴山弓季、西山 成
香川大・医・薬理

10:18 B-5 慢性腎不全における尿毒素によるヘプシジン制御機構

○濱野裕章^{1,4}、池田康将¹、堀ノ内裕也^{1,4}、佐藤明穂²、渡邊大晃³、
大島啓亮¹、石澤有紀¹、木平孝高¹、石澤啓介^{3,4}、土屋浩一郎²、
玉置俊晃¹

¹ 徳島大・院・薬理、² 徳島大・院・医薬品機能生化学、³ 徳島大・院・臨床薬剤学、⁴ 徳島大病院・薬剤部

10:30 B-6 Na⁺/グルコース共輸送体 2 (SGLT2) 阻害薬の作用キネティクスと阻害メカニズム

○大垣隆一¹、Wei Ling¹、永森収志¹、山田和徳²、原 大樹²、
栗山千亜紀²、植田喜一郎²、塩谷正治²、金井好克¹

¹大阪大院・医・薬理・生体システム薬理、²田辺三菱製薬株式会社

10:42 - 11:42 学生優秀発表賞選考セッション2

座長：金井好克（大阪大学大学院医学系研究科・生体システム薬理）

橋本 均（大阪大学大学院薬学研究科・神経薬理学）

10:42 B-7 Kir2.1 による低酸素培養下での脳血管内皮細胞の Ca²⁺動態制御

○山村英斗¹、鈴木良明¹、山村寿男¹、浅井清文²、今泉祐治¹

¹名古屋市立大院・薬・細胞分子薬効解析学、²名古屋市立大院・医・
分子神経生物学

10:54 B-8 虚血性神経細胞障害におけるグルタミントランスポーターSlc38a1 の役割

○中村早希¹、宝田剛志¹、國保博史¹、金田勝幸¹、米田幸雄²

¹金沢大院・薬・薬理、²金沢大学ベンチャービジネスラボラトリー

11:06 B-9 Possible involvement of HSP90 in leptin-induced STAT3 activation and feeding regulation

○松崎 周¹、細井 徹¹、神田稔子¹、石口瑞穂²、桑村彩香²、
小澤光一郎¹

¹広島大院・医歯薬保健・治療薬効、²広島大・薬・治療薬効

11:18 B-10 ナローバンド UVB のヒスタミン H₁ 受容体遺伝子発現抑制の分子機構

○岡本健太郎¹、水口博之¹、藤井達也²、北山美香¹、北村嘉章²、
武田憲昭²、福井裕行³

徳島大院・医歯薬学研究部・¹分子情報薬理、²耳鼻咽喉科学、
³分子難治性疾患学

11:30 B-11 アトピー性皮膚炎モデルマウスにおけるフェノバルビタール大槽内投与による掻痒様行動の増強

○大神彩佳、藤井正徳、美淋都子、渡邊保志、浅野絵里香、大矢 進
京都薬大・薬理

13:30 - 14:30 中枢神経 4

座長：川畑篤史（近畿大学薬学部・病態薬理学）

大澤匡弘（名古屋市立大学大学院薬学研究科・神経薬理学）

13:30 B-12 Cyclophosphamide 誘起膀胱炎マウスにおける膀胱痛は亜鉛欠乏により増強される：T型 Ca^{2+} チャンネルの関与について

○尾崎友香¹、松岡順紀¹、坪田真帆¹、富田詩織¹、関口富美子¹、
南 武志²、川畑篤史¹

¹近畿大・薬・病態薬理、²近畿大・理工・生命科学科

13:42 B-13 細胞内亜鉛濃度変化に伴う神経障害性疼痛発症機序

○北山友也¹、森田克也²、兼松 隆³

¹武庫川女子大・薬、²広島文化学園大・看護、

³広島大院・医歯薬保健

13:54 B-14 神経障害性疼痛に及ぼす MMP12 の影響

○雑賀史浩¹、氏家悠佳^{1,2}、木口倫一¹、松崎伸介¹、岸岡史郎¹

¹和歌山県立医科大・薬理、

²国立精神・神経医療研究センター神経研究所

14:06 B-15 High mobility group box-1 が全脳虚血誘導性痛覚過敏に及ぼす影響

○原田慎一¹、松浦渉¹、劉 克約²、西堀正洋²、徳山尚吾¹

¹神戸学院大・薬・臨床薬学、

²岡山大院・医歯薬総合・薬理

14:18 B-16 脊髄ニューロン-グリア乳酸シャトルの疼痛制御における役割

宮本啓輔¹、石倉啓一郎¹、飯尾彩花²、糸 和彦²、○大澤匡弘²

¹名市大・薬・神経薬理、²名市大院・薬・神経薬理

14:30 - 15:30 中枢神経 5

座長：荻田喜代一（摂南大学薬学部・薬理学）

間宮隆吉（名城大学薬学部・薬品作用学）

14:30 B-17 トロンビン受容体を介した海馬歯状回由来神経系幹・前駆細胞の増殖抑制

○田中雅幸、山邑真二郎、竹中美千瑠、米山雅紀、荻田喜代一
摂南大・薬・薬理

14:42 B-18 線条体内 LPS 投与によるサイトカイン産生及びドパミン神経障害に対する L-dopa 投与の影響

○杉野佑太、吉岡靖啓、山下和純、三木佑莉、山室晶子、石丸侑希、前田定秋
摂南大・薬・薬物治療

14:54 B-19 アルツハイマー病治療薬リバスチグミンの感覚情報処理機能障害改善作用におけるムスカリン受容体の関与

○東野功典¹、吾郷由希夫¹、梅木孝弘¹、尾中勇祐²、橋本 均^{1,3}、田熊一徹^{3,4}、松田敏夫²
¹大阪大院・薬・神経薬理、²大阪大院・薬・薬物治療、³大阪大院・5 大学連合小児発達、⁴大阪大院・歯・薬理

15:06 B-20 The analysis of endosomal proteins, which specifically interact with APP- β CTF.

○高杉展正^{1,2}、櫻井 隆¹
¹順天堂大院・医・薬理、²岡山大院・医歯薬総合・薬効解析

15:18 B-21 $A\beta_{25-35}$ 誘発学習・記憶障害に対する脳内 GAT2 を介したベタインの効果とアストロサイトの関与

○衣斐大祐、野村知弘、長尾真希子、間宮隆吉、平松正行
名城大・薬・薬品作用学

15:30 - 16:30 中枢神経6・感覚器

座長：酒井規雄（広島大学大学院医歯薬保健学研究院・神経薬理学）

田中利男（三重大学大学院医学系研究科・薬理ゲノミクス）

15:30 B-22 $\alpha 3\alpha 5$ 型ニコチン受容体機能の cAMP を介した調節

○宇野珠世¹、田中 茂²、宮城達博²、秀 和泉²、白藤俊彦²、
入船正浩¹、酒井規雄²

広島大院・医歯薬保健・¹歯科麻酔、²神経薬理

15:42 B-23 セロトニン神経機能に関わる遺伝子発現に対する miRNA の作用

○大住康晃¹、永安一樹²、笠井淳司¹、木本早紀¹、尾中勇祐¹、
早田敦子³、中澤敬信²、新谷紀人¹、橋本 均^{1,2,3}

¹大阪大院・薬・神経薬理、²大阪大院・薬・附創薬セ、³大阪大院・
連合小児発達・子どものこころ研セ

15:54 B-24 新規色素 ZMJ214 によるミトコンドリア機能障害の in vivo イメー
ジング

○笹川翔太¹、西村有平^{1,2,3,4,5}、小岩純子¹、野本 毅⁶、新藤太一⁶、
村上宗一郎¹、弓削瑞葵¹、川口幸輝¹、川瀬玲子¹、宮崎 健⁶、
田中利男^{1,2,3,4,5}

¹三重大院・医・薬理ゲノミクス、²三重大院・医・システムズ薬理、
³三重大・メディカルゼブラフィッシュ研究センター、⁴三重大・
生命科学研セ・バイオインフォ、⁵三重大・新産業創成研究拠点、
⁶キャノン株式会社 総合 R&D 本部

16:06 B-25 新規難聴モデルとしての騒音性難聴モデル動物ー急性音響外傷モデ
ルとの比較ー

○山口太郎、松川友美、山田彩加、米山雅紀、荻田喜代一
摂南大・薬・薬理

16:18 B-26 難聴発症メカニズムにおける 4-hydroxynonenal の関与

○米山雅紀、土屋侑子、山口太郎、荻田喜代一
摂南大・薬・薬理

C 会場（501-503 会議室）

9:30 - 10:30 免疫・炎症

座長：西堀正洋（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・薬理学）

高橋英夫（近畿大学医学部・薬理学）

- 9:30 C-1 IL-18 は M2 マクロファージによる血管新生を促進する
○小堀宅郎、濱崎真一、北浦淳寛、加藤貴史、丹羽淳子、高橋英夫
近畿大・医・薬理
- 9:42 C-2 感作マウス気道上皮細胞からの抗原誘発 IL-33 産生における IgE の関与の可能性
○松田将也¹、木戸仁美²、石田有希¹、辻本奈有¹、水谷暢明³、吉野 伸³、福井裕行⁴、大矢 進²、奈邊 健¹
¹摂南大・薬・薬効薬理、²京都薬大・薬理、³神戸薬大・薬理、⁴徳島大・ヘルスバイオサイエンス研・分子難治性疾患
- 9:54 C-3 IgA の抗原特異的な感作抑制作用
○八巻耕也、吉野 伸
神戸薬科大・薬理
- 10:06 C-4 LPS 誘発性肺傷害の炎症病態に対する可溶性 Receptor for advanced glycation end-products (sRAGE) の役割
○出石恭久¹、勅使川原匡¹、劉 克約¹、和氣秀徳¹、王 登莉¹、高田尚良²、吉野 正²、高橋英夫³、森 秀治⁴、西堀正洋¹
岡山大院・医歯薬学総合・¹薬理、²病理・第二病理、³近畿大・医・薬理、⁴就実大・薬・薬学科
- 10:18 C-5 高ヒスチジン糖タンパク質 (HRG) の敗血症性 immunothrombosis 形成に対する影響
○和氣秀徳¹、森 秀治²、劉 克約¹、勅使川原匡¹、西堀正洋¹
¹岡山大院・医歯薬学総合・薬理、²就実大・薬・生体情報

10:30 - 11:42 学生優秀発表賞選考セッション3

座長：西山 成（香川大学医学部・薬理学）

田熊一徹（大阪大学大学院歯学研究科・薬理学）

- 10:30 C-6 発育期における葉酸欠乏が成熟後の精神機能に与える影響
○太田圭祐¹、西田将治¹、平城陽介¹、中村吉孝²、荒木良太¹、
矢部武士¹
¹摂南大・薬・複合薬物解析、²株式会社 明治・研究本部・食機能
科学研究所
- 10:42 C-7 マクロファージ由来 high mobility group box1 はマウスにおける
lipopolysaccharide 誘起炎症性痛覚過敏及び抗癌剤 paclitaxel 誘起
神経障害性疼痛に関与する
○堂本莉紗¹、山嵜大智¹、山西広樹¹、関口富美子¹、坪田真帆¹、
西堀正洋²、川畑篤史¹
¹近畿大・薬・病態薬理、²岡山大院・医・薬理
- 10:54 C-8 神経障害性疼痛発症における脊髄後角での時計遺伝子 Period1 の役割
○佐伯宗紀、森岡徳光、張 芳芳、中島一恵、仲田義啓
広島大院・医歯薬保健学・薬効解析科学
- 11:06 C-9 6-Hydroxydopamine 毒性に対するシソ由来カルコン DDC の中脳ドパミン
神経保護作用
○正木雄太¹、泉 安彦¹、松村敦子¹、赤池昭紀^{1,2}、久米利明¹
¹京都大院・薬・薬品作用解析、²名古屋大院・創薬科学・細胞薬効
解析
- 11:18 C-10 多発性硬化症における TRPM2 チャネルの病態生理学的役割
○筒井真人¹、平瀬 遼¹、白川久志¹、中川貴之^{1,2}、金子周司¹
¹京都大院・薬・生体機能解析、²京都大・医・附属病院薬剤部
- 11:30 C-11 神経障害性疼痛におけるリン酸化 PKC γ の関与
○石倉啓一郎¹、糸 和彦²、大澤匡弘²
¹名市大・薬・神経薬理、²名市大院・薬・神経薬理

13:30 - 14:42 骨・消化器

座長：檜井栄一（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科・薬理学）

関口富美子（近畿大学薬学部・病態薬理学）

13:30 C-12 破骨細胞機能および骨吸収における転写調節因子 Ifrd1 の役割

○家崎高志、深澤和也、尾崎 翔、大西勇氣、米田幸雄、金田勝幸、
檜井栄一

金沢大・医薬保健研究域薬学系・薬理

13:42 C-13 β -クリプトキサンチン摂取は閉経後骨粗鬆症の発症を抑制する

○大西勇氣¹、岡本舞香¹、尾崎 翔¹、深澤和也¹、米田幸雄¹、
金田勝幸¹、杉浦 実²、檜井栄一¹

¹金沢大・医薬保健研究域薬学系・薬理、²農業・食品産業技術総合
研究機構・果樹研究所

13:54 C-14 破骨細胞分化過程におけるニコランジルの抑制効果

○岩城 太、天野 均、大浦 清

大阪歯大・薬理

14:06 C-15 ラットの異食行動を利用したテリパラチド誘発悪心病態モデルの作成

○山本浩一¹、磯谷幸宏²、石田隆行¹、大和谷厚³

¹大阪大院・医・保健、²旭化成ファーマ(株)、³大阪大院名誉教授

14:18 C-16 マウス結腸輪走筋収縮反応における TRPC6 チャネルの生理学的役割

○鈴木 翔¹、東 泰孝¹、東 直毅¹、喜多紗斗美²、中嶋秀満¹、
岩本隆宏²、竹内正吉¹

¹大阪府大院・生命環境・獣医・応用薬理、²福岡大・医・薬理

14:30 C-17 IL-19 遺伝子欠損マウスにおける TNBS 誘発性大腸炎の増悪

○東 泰孝、松尾有希子、中嶋秀満、竹内正吉

大阪府立大院・生命環境科学・獣医・応用薬理

14:42 - 15:54 糖尿病・がん

座長：大矢 進（京都薬科大学・薬理学）

土屋浩一郎（徳島大学大学院医歯薬学研究部・医薬品機能生化学）

14:42 C-18 糖尿病による炎症増悪機構における miRNA の関与について

○居場嘉教、森下 優、伊藤康祐

摂南大・理工・生命科学

14:54 C-19 イソキノリン誘導体 KY-903 の PPAR γ 部分アゴニスト特性，抗糖尿病作用および抗肥満作用

○伊東佑真、福井正樹、亀本 光、森下 巧、北尾達哉、白波瀬弘明

京都薬品工業（株）・創薬研究部

15:06 C-20 AMPK 活性化剤は運動療法による代謝改善効果をどこまで模倣できるか？—メタボローム分析による AMPK 仮説の検証—

○宮本理人¹、江川達郎²、大島里詠子²、黒木英梨子²、土屋浩一郎¹、林 達也²

¹ 徳島大院・医歯薬学研究部・医薬品機能生化学、² 京都大院・人間・環境学・運動医科学

15:18 C-21 MicroRNA-494 はヒト iPS 細胞由来の骨格筋細胞においてミトコンドリア酸素消費量を制御する

○岩崎広高^{1,2}、今村武史¹、森野勝太郎²、下里 貴¹、田和正志¹、卯木 智²、櫻井英俊³、前川 聡²、岡村富夫¹

滋賀医大・¹ 薬理、² 糖尿病内分泌・腎臓・神経内科学、³ 京都大・iPS 細胞研究所・臨床応用研究部門

15:30 C-22 乳がん細胞におけるヒストン脱アセチル化酵素によるカルシウム活性化カリウムチャネル転写制御

金塚早希¹、波多野紀行²、松井 梓¹、松葉紗代¹、Anowara Khatun¹、足野晋平¹、鬼頭宏彰¹、丹羽里実¹、藤井正徳¹、鈴木孝禎³、村木克彦²、○大矢 進¹

¹ 京都薬大・薬理、² 愛知学院大・薬・薬効解析、³ 京都府医大院・医・医薬品化学

- 15:42 C-23 エピゲノム制御酵素の *S*- ニトロシル化を介した活性調節機構
○奥田洸作、高杉展正、上原 孝
岡山大学院・医歯薬学総合・薬効解析

